

新技術実用化推進事業

実証期間：2019年（令和元年）10月



目的

住宅エリアと医療機関、商業施設、金融機関などが集積するエリアを結ぶルートにおいて、新技術を活用した自動運転の社会実証実験を実施し、その機能性、満足度や課題を検証することを目的とする。

背景・課題

石狩市では高齢化が進行している背景があり、高齢化が進行している地域では、地域手段の確保は喫緊の課題であった。

事業のポイント【自動運転システム】

- 管制システム**
 - ✓ 自動運転車両の安全を確保するために、オペレーターが車両状態と位置を常に確認。
 - ✓ 安全確認が必要な場面や問題を発見した場合には、車両に乗っている人と連絡を取り、安全確認した上で発進。
- サブシステム**
 - ✓ GPSで位置特定し、目に見えない経路を追従して自動運転する。
 - ✓ 停まる：カメラなどのセンサー機器により、周辺の人や物を検知すると自動停止する。一般車両が横断する地点の手前では自動で一時停止。
- 車両**
 - ✓ サーバーを経由して、離れた場所から車両を監視。
 - ✓ 車両の情報（位置、速度等）が常に記録として保存。

期待される効果

- ✓ 商業等集積エリアへのアクセス性が向上
- ✓ 高齢者世帯が安心して暮らせる定住化地域の構築
- ◆ 子育て世代の流入促進
- ✓ 外出機会の創出による健康増進
- ◆ 地域コミュニティの形成による地域活性化

推進体制

- 事務局、警察協議等**
北海道経済部産業振興局
- 地元調整、現場対応、用具等支援等**
石狩市企画経済部企画課
- 実験計画、実験評価、マネジメント等**
日本工営株式会社
- システム開発等**
道内IT関連企業（名称非公表）
- 車両開発等**
道外自動車関連企業（名称非公表）

事業主体 石狩市

概要

道、石狩市等からなる「自動走行利活用研究会」が、高齢者などの交通手段の確保を図るため、新技術である自動運転を活用し、ゴルフカーをベースに開発した自動運転車両を用いて、地域住民の体験乗車も含めた実証実験を行った。



管制システム内部の様子

アンケート 実証実験に参加した方々（41名）から評価を得る（うち回答者 28人）。

- 車両の乗り心地の満足度 **82%**
- 自動運転システムの満足度 **79%**
- 自動運転システムの導入に賛成 **96%**
- 自動運転システムの導入で、外出機会が増加 **81%**
- 自動運転システムの導入で、外出する範囲拡大 **70%**



- 自動運転システムのニーズの高さ
- 導入による地域への効果の高さ

担当者より 予想よりも自動運転システムは市民に好評でした。今後、運転免許証を返納する方が増加すると想定される社会では自動運転システムは必要不可欠な存在になっていくと思います。

お問い合わせ 北海道石狩市企画経済部企画課交通担当 江島 紀和
電話 0133-72-3193
E-mail kikaku[アット]ishikari.hokkaido.jp